

	データ項目
効率化・負担軽減	①取組内容に対応する業務時間の計測 ・病院が導入したICT機器等に対応する業務に要した時間を導入前後で計測する ・導入前の連続5日間と、導入後6か月・1年経過後のそれぞれ連続5日間で計測 例) ①病棟の看護職員にスマートフォンの導入⇒情報共有に係る時間 ②生成AIを活用した文書自動作成の導入 ⇒医師・医師事務作業補助者の文書・記録作成に係る時間 ③薬剤自動分割分包機の導入⇒薬剤師による調剤業務に係る時間 ②取組内容に関係する職員の総労働時間・超過勤務時間 ・導入前の1か月間、導入後6か月後・1年後のそれぞれ1か月間 ③職員の配置人数 ・導入前のある1月、導入後6か月後・1年後のそれぞれのある1月 例) 看護業務の効率化の場合 ⇒ 病棟の看護職員の配置人数(常勤換算) 医師業務の効率化の場合 ⇒ 医師事務作業補助者の配置人数(常勤換算)
医療安全の確保	①インシデント件数(レベル3B以上) ・導入前のある1月と、1年経過後の同じ月で件数を比較 ②導入するICT機器等に関連するインシデント件数 ・導入前のある1月と、1年経過後の同じ月で件数を比較 例) 見守りセンサー・見守りカメラ/インカム : 転倒・転落発生件数 薬剤自動分包機 : 誤調剤の件数 薬剤搬送ロボット : 薬剤の搬送間違い件数 文書自動作成、バイタル自動入力 : 記載誤り、データ誤入力の件数
経営状況	①関係職員の超過勤務手当の金額 ・取組内容に関係する職員全体の超過勤務手当の1人当たり平均額 ・導入前のある1月と1年経過後の同じ月で比較 ②効率化に関する取組が病院事務の委託費に影響する場合には、導入前1年と導入後1年の委託費の比較データ

※ データの計測方法・提出方法の詳細については、別途改めてお示しします。その際、上記のデータ項目が変更になる可能性もありますのでご注意ください。